

木星現象論: 木星に関する用語

地球流体電腦俱楽部

1996 年 5 月 24 日

目 次

1	木星に関する用語	2
1.1	Jupiter(ユピテル)の名前の由来	2
1.2	シンボルとしての木星	2
1.3	自転周期について	2
1.4	模様の名称一覧	3
2	木星の地図	4
3	参考文献	4

要旨

木星に関する基本的な用語と地図(パターンの名前)を与える。

1 木星に関する用語

1.1 Jupiter(ユピテル)の名前の由来

『古代ローマ人の最高神. 英語読みではジュピター. ギリシア神話のゼウスと同一視された. その名は Dieu pater (父なるディエウス の意) がつづまったもので, 本来はゼウスと同じくインドヨーロッパ語系諸属の天空神であるが, そこから進んでさまざまの気象現象をつかさどる神, さらには人間世界の動向をも定める神となり, ついには国家としてのローマの命運を支配する最高神として崇拜を集めるに至った. 』(平凡社 世界大百科事典より)

1.2 シンボルとしての木星

『木星は最大の惑星であり, ギリシア・ローマ神話の神々の王たるゼウス, ユピテル (英語のジュピター) と同一視された. 錬金術ではスズのシンボル, 占星術では大いなる幸福の惑星とみなされ, 吉位にある場合は長寿と栄誉をもたらし, 率直, 博愛, 賢明, 正義の性質を授けるとされる. 逆に凶位にある木星は, 妄想, うぬぼれ, 虚栄心の強い人間をつくる. 人体の支配部位は, 肺臓, 肋骨, 動脈, 精子, 肝臓で, 多血質, 卒中性の体質を生むとされる. 』

(平凡社 世界大百科事典より)

1.3 自転周期について

木星の自転周期には伝統的に次の 3 通りある.

- System I
赤道域南北約 9° の範囲の模様の運動から定める. 周期 9h50m30.003s
- System II
System I 以外の高緯度の模様の運動から定める. 周期 9h55m40.632s.
- System III
木星から放出される波長 7.5 ~ 700m の電磁波 (decameter radiation) から定める. 周期 9h55m29.710s. この電磁波放射の周期は木星の磁場・木星内部核の回転周期と考えられている. 現在では System III の周期をもとに木星の経度が定義され, 大気運動などの基準として用いられている.

1.4 模様の名称一覧

略記号	名称	位置
NPR	北極圏	90°N ~ 55°N
NNNTB	北北北温帯縞	45°N
NNTZ	北北温帯	41°N
NNTB	北北温帯縞	37°N
NTZ	北温帯	33°N
NTB	北温帯縞	31°N ~ 24°N
NTrZ	北熱帯	24°N ~ 20°N
NEB	北赤道縞	20°N ~ 7°N
EqZ	赤道帯	7°N ~ 7°S
EB	赤道紐	0.4°S
SEB	南赤道縞	7°S ~ 21°S
STrZ	南熱帯	21°S ~ 26°S
GRS	大赤班	22°S
STB	南温帯縞	26°S ~ 34°S
STZ	南温帯	38°S
SSTB	南南温帯縞	44°S
SSSTZ	南南南温帯	50°S
SSSTB	南南南温帯縞	56°S
SPR	南極圏	58°S ~ 90°S

表 1. 木星の模様の名称 (Moore and Hunt 1983)

2 木星の地図

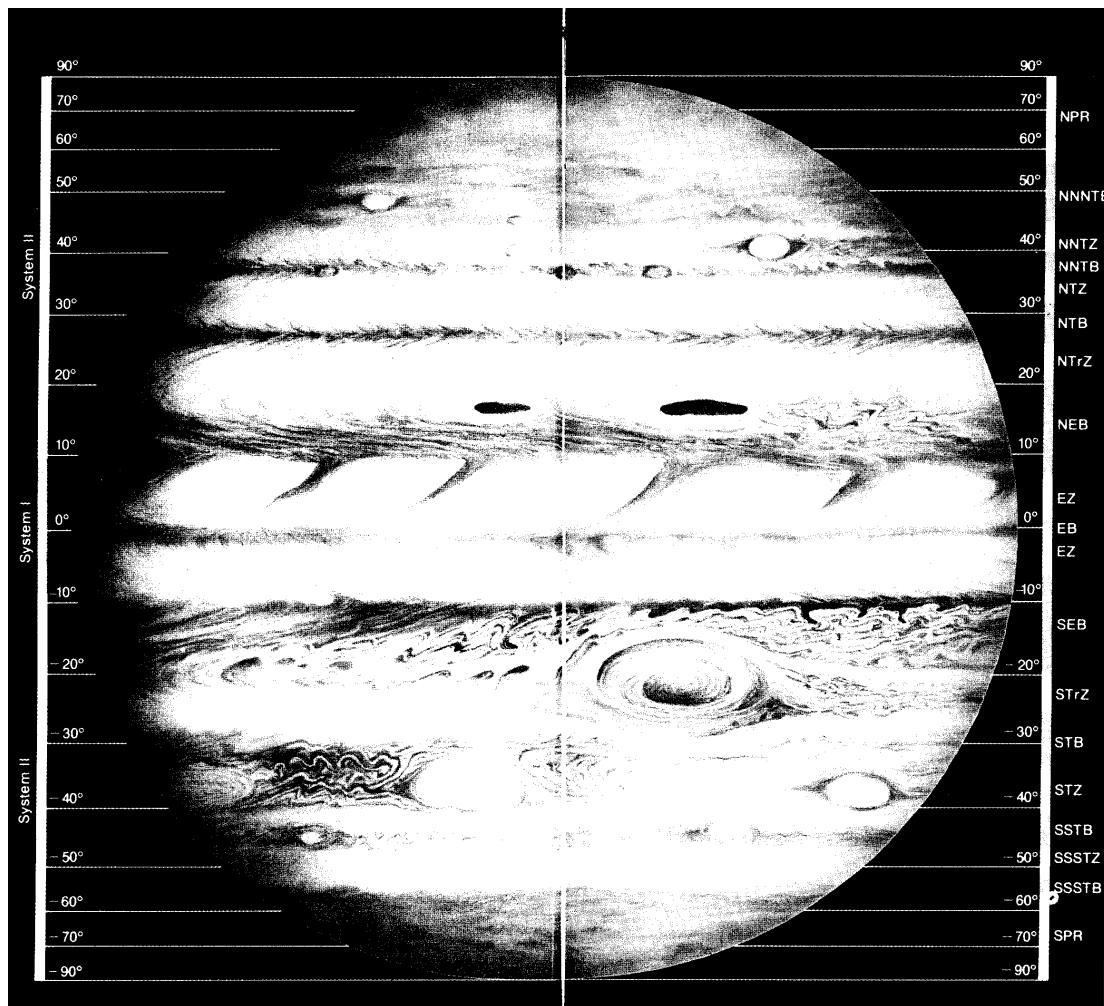


図 1. 木星の地図 (Moore and Hunt 1983)

3 参考文献

Moore,P.,Hunt.G.,1983 : *Atlas of the solar system*. Rand McNally & Company,
464pp. 清水幹夫訳 : *図説我らの太陽系*

世界大百科事典, 平凡社

謝辞

本稿は 1989 年から 1993 年に東京大学地球惑星物理学科で行われていた、流体力論セミナーでのセミナーノートがもとになっている。原作版は竹広真一による「木星現象論」(90/05/01) であり、林祥介によって地球流体力電腦俱楽部版「木星現象論」として書き直された (96/06/23)。構成とデバッグに協力してくれたセミナー参加者のすべてにも感謝しなければならない。